

# インストールおよびセットアップガイド

---

DataPage+ 2012



## 目次

前提条件コンポーネントのインストール .....	1
概要 .....	1
ステップ 1: Setup.exe の実行とウィザードの開始 .....	1
ステップ 2: 使用許諾契約への同意.....	2
DataPage+ ソフトウェアのインストール.....	7
概要 .....	7
ステップ 1: ウィザードの開始.....	7
ステップ 2: 顧客情報の入力 .....	8
ステップ 3: インストールする項目の選択.....	9
ステップ 4: インストールフォルダの選択.....	12
ステップ 5: インストールの確認および終了 .....	12
ステップ 6: インストールしたコンテンツの確認 .....	15
プログラムファイル.....	15
デモデータベース ファイル .....	16
DataPage+ をはじめて使用する .....	17
概要 .....	17
ステップ 1: ソフトウェアの開始 .....	17

ステップ 2: 「はじめに」に進む .....	17
インストールのトラブルシューティング .....	19
概要 .....	19

# 前提条件コンポーネントのインストール

## 概要

ここでは以下の前提条件コンポーネントを取り扱います:

- Microsoft .NET Framework 4
- Microsoft SQL Server 2008 Express

## ステップ 1: Setup.exe の実行とウィザードの開始

CD/DVD からインストールする場合、メインの **setup.exe** (図 1) をダブルクリックします。

ダウンロード可能なファイルからインストールする場合、ダウンロードしたアーカイブからコンテンツを解凍し、そこから **setup.exe** ファイルをダブルクリックします:

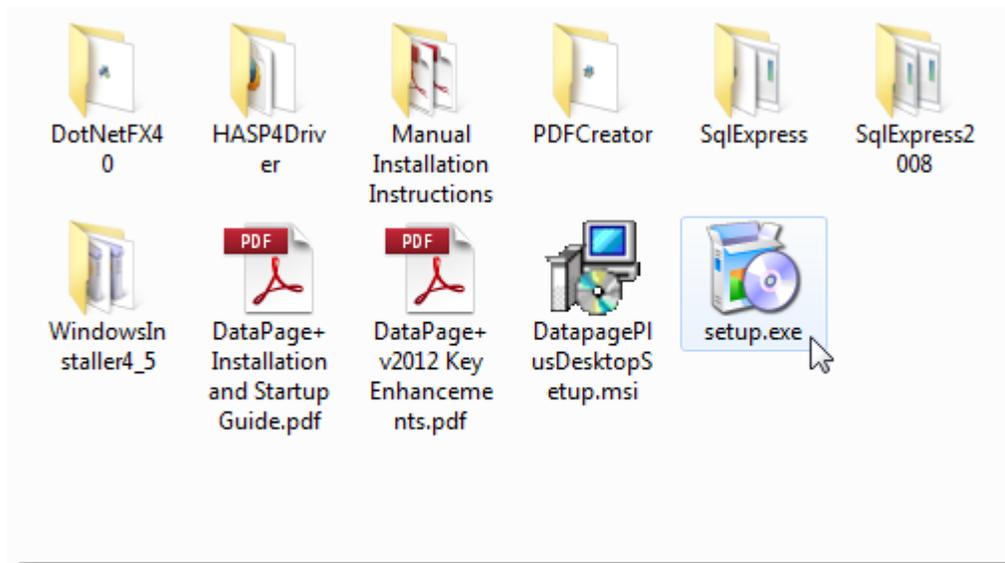


 図 1 – Setup.exe ファイル

インストールウィザードが開きます。前述の必要なコンポーネントが見つからない場合、インストールパッケージはメインの DataPage+ アプリケーションをインストールする前にそれらのインストールを試みます。

---

## ステップ 2: 使用許諾契約への同意

表示された使用許諾契約へ同意します:

- 表示されたら、Microsoft .NET Framework 4 コンポーネントの [同意する] をクリックします (図 2)。
- 表示されたら、Microsoft SQL Server 2008 Express の [同意する] をクリックします (図 3)。

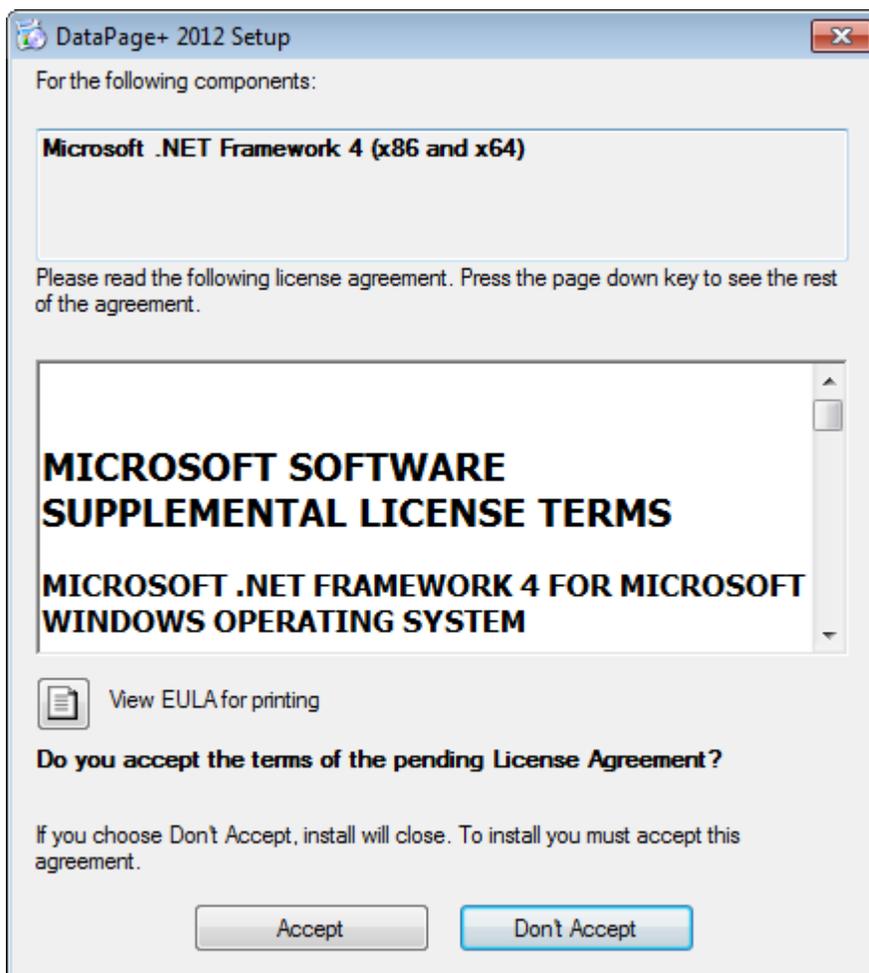
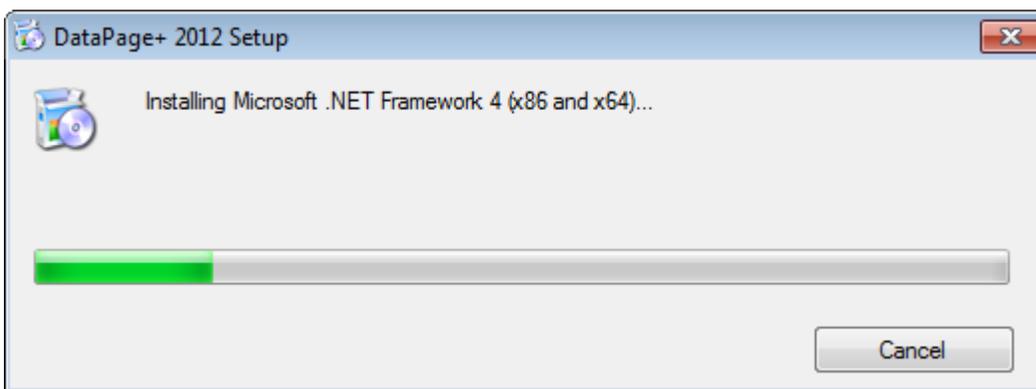


図 2 – Microsoft .NET Framework 4 使用許諾契約の同意待ち

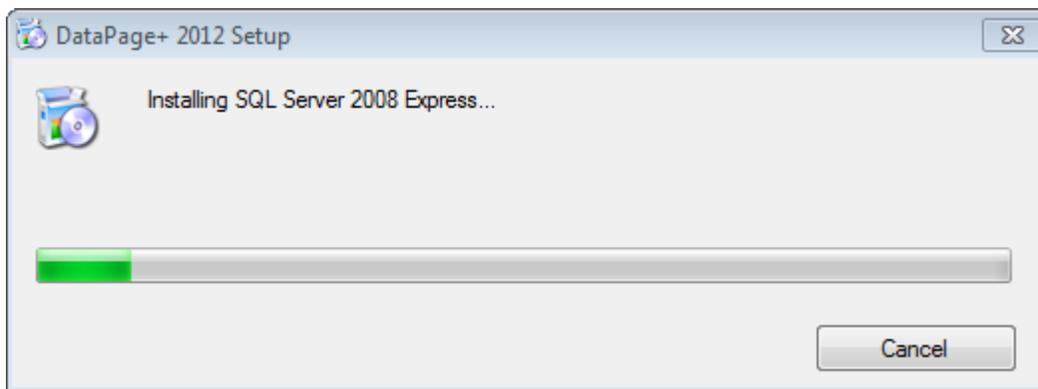


図 3 – SQL Server 2008 使用許諾契約の同意待ち

はじめに .NET Framework 4 の進行状況バーが現れます:



コンポーネントがインストールされたら、その直後に SQL Server 2008 Express のインストールを表すもう 1 つの進行状況バーが現れます:



これら必要なコンポーネントをインストールするには数分かかります、しばらくお待ちください。

.NET Framework 4 および MS SQL Express 2008 コンポーネントがインストールされたら、直ちにインストールプログラムがメインの DataPage+ インストールを開始します。7 ページの「DataPage+ ソフトウェアのインストール」を参照してください。



# DataPage+ ソフトウェアの インストール

---

## 概要

ここでは DataPage+ アプリケーションのインストールのみを取り扱います。インストーラはすでに前提条件コンポーネントをインストール済みである必要があります。詳しくは 1 ページの「前提条件コンポーネントのインストール」を参照してください。

---

## ステップ 1: ウィザードの開始

**注記:** setup.exe インストールセットアッププログラムを実行した時に既存のバージョンの Datapage+ が既にシステムに存在する場合、既存のインストールを修復するか削除するか選択するオプションが与えられます。

さらに、完全インストールセットを実行する場合、このインストーラは現在のシステムで MS .NET Framework 4 を見つけられない場合はインストールを行います。

.NET Framework 4 および MS SQL Express 2008 コンポーネントがインストールされたら、インストーラプログラムは直ちにメインの DataPage+ インストールを開始します。

Datapage+ セットアップウィザードが自動的に現れ、このプロセスをガイドします。ボックスに入力して目的のオプションを選択します。各画面で [次へ] をクリックします。

最初の「ようこそ」画面 (図 4) で、[次へ] をクリックしてウィザードを開始します:

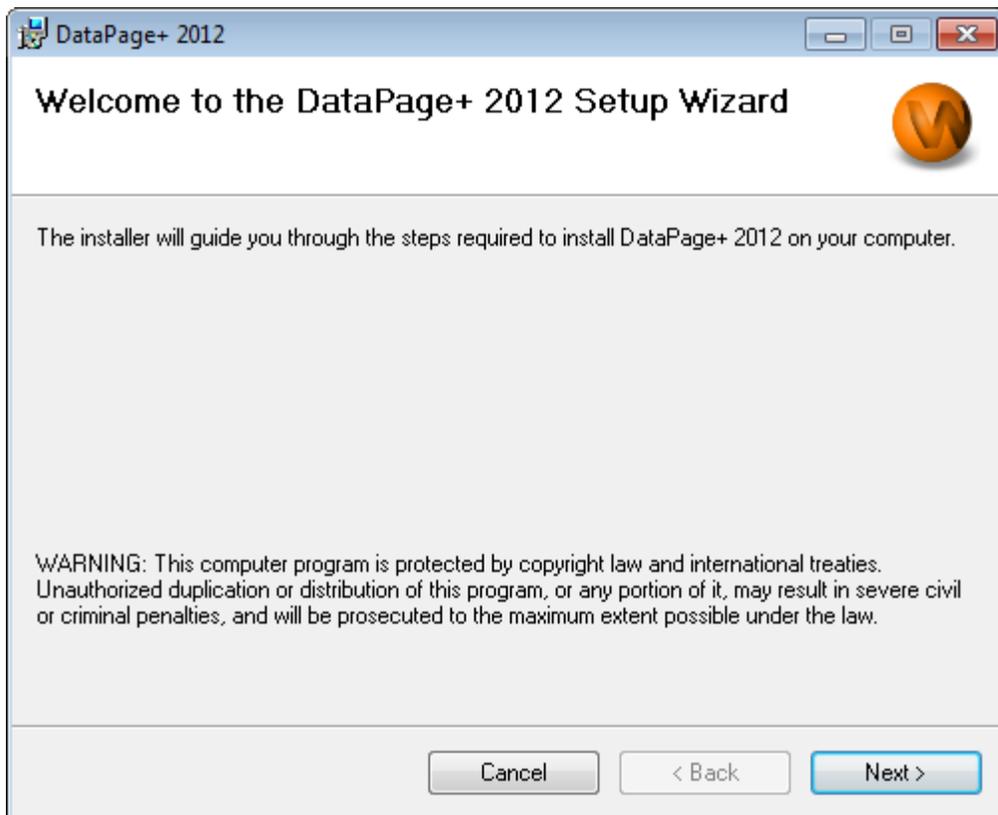
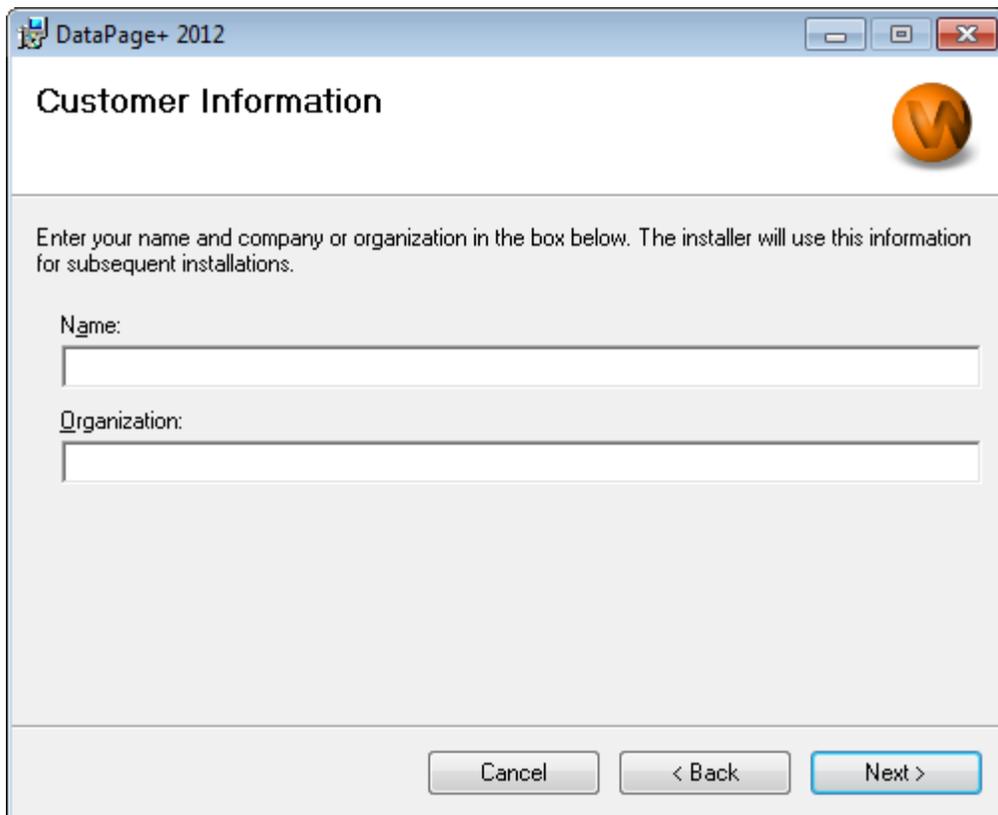


図 4 – 最初のようこそ画面

---

## ステップ 2: 顧客情報の入力

[お客様情報] 画面が現れます (図 5)。



**Customer Information**

Enter your name and company or organization in the box below. The installer will use this information for subsequent installations.

Name:

Organization:

Cancel

< Back

Next >

図 5 – お客様情報画面

[氏名] および [組織名] に情報を入力し、[次へ] をクリックします。

---

## ステップ 3: インストールする項目の選択

[インストールのカスタマイズ 1] 画面よりインストールしたいコンポーネントのみを選択し、インストールをカスタマイズします (図 6):

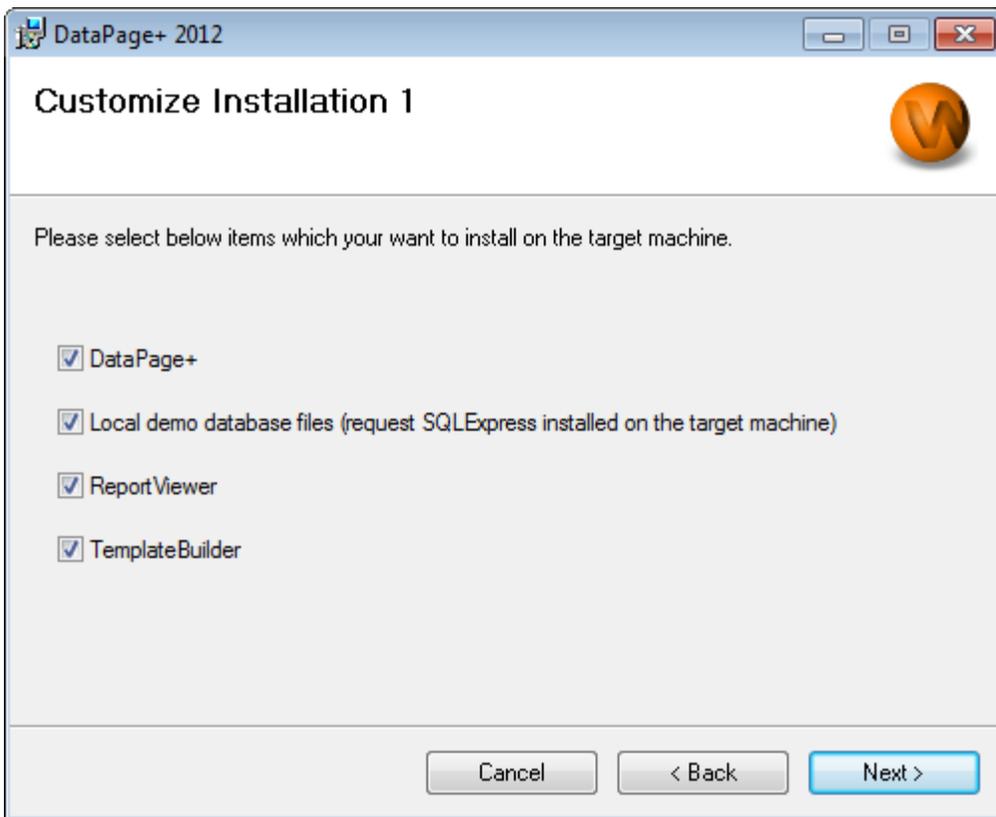


図 6 – インストールのカスタマイズ 1 画面

以下のチェックボックスでインストールする製品を決定します:

- **Datapage+** - これをマークすると、メインの Datapage+ アプリケーションがインストールされます。
- **ローカルデモデータベースファイル** - これをマークすると、旧バージョンの DataPage/RT で使用されるデモデータベースがインストールされます。
- **レポートビューア** - これをマークすると、スタンドアロンのレポートビューアをインストールし、作成および保存されたレポートを Datapage+ 内から表示できるようになります。
- **テンプレートビルダ** - これをマークすると、ユーザー独自の Datapage+ レポートテンプレートを変更または構築するアプリケーションがインストールされます。
- [次へ] をクリックして続行します。[インストールのカスタマイズ 2] 画面が現れます (図 7)。

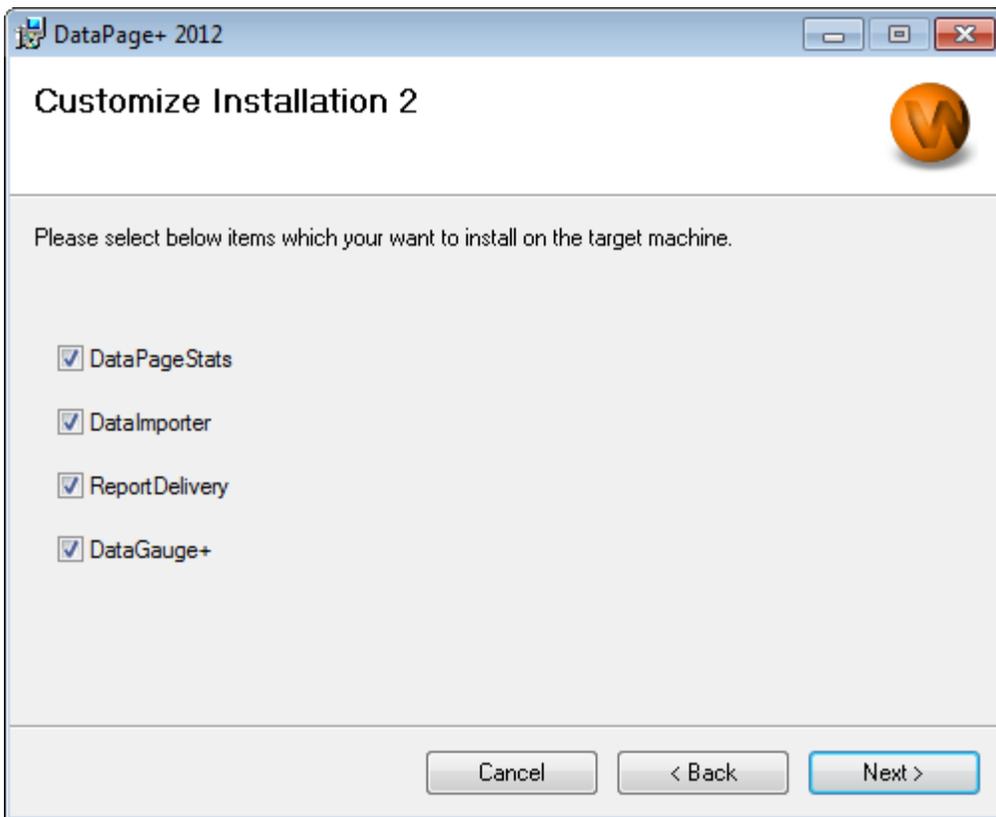


図 7- インストールのカスタマイズ"2 画面

インストールする追加のツールを選択します:

- **DataPageStats** – これをマークすると、DataPageStats.exe ユーティリティをインストールします。このツールは PC-DMIS パーツプログラム内から Datapage+ の XML 統計ファイルを新規に作成します。
- **Data Importer** – これをマークすると、Dataimporter.exe ユーティリティをインストールします。このツールはローカルコンピュータの指定のディレクトリを監視し、サポートするファイルタイプのデータをインポートします。
- **ReportDelivery** – これをマークすると、ReportDelivery.exe ユーティリティをインストールします。このツールは自動的に DataPage+ レポートを指定のディレクトリに送信、または目的の受信者へ電子メールで送信します。
- **DataGauge+** – これをマークすると、DataGaugeDesktop.exe ユーティリティをインストールします。

[次へ] をクリックして続行します。

## ステップ 4: インストールフォルダの選択

[インストールフォルダの選択] 画面が現れます (図 8)。

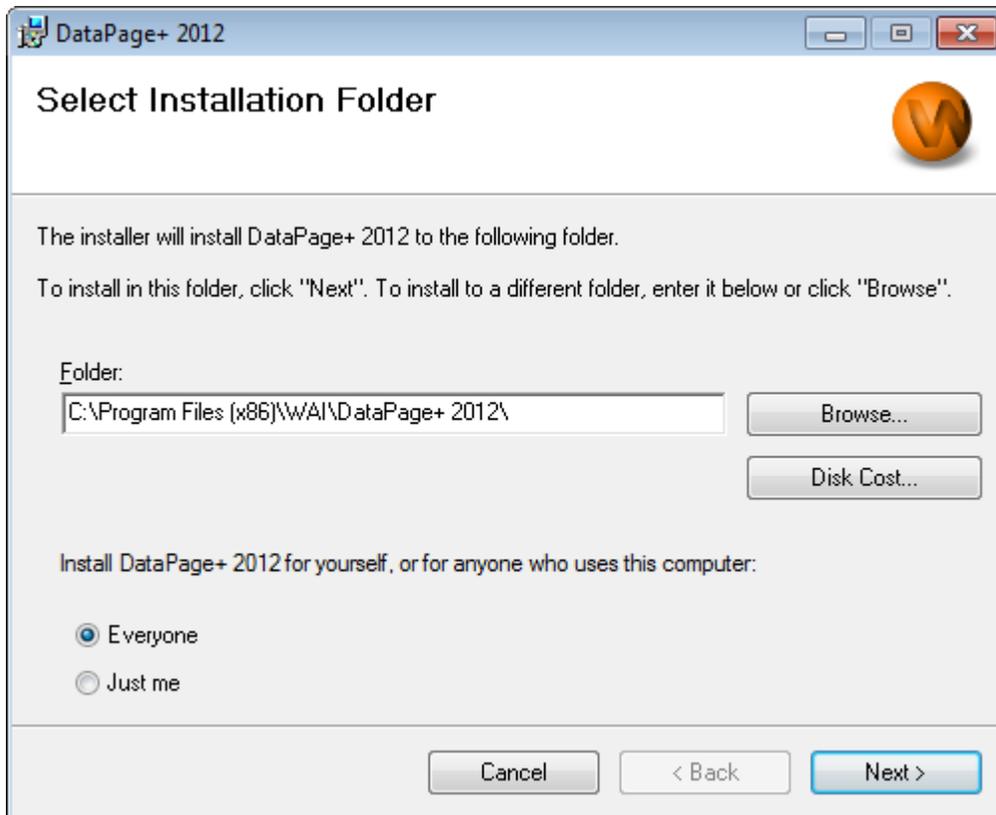


図 8 – インストールフォルダの選択画面

[フォルダ] ボックスで、インストール先にしたいフォルダのパスを入力するか、または [参照] ボタンを使用してそのフォルダに移動します。

当ソフトウェアを 1 人のユーザー専用 (1 人のユーザー) もしくはコンピュータのユーザー全員 (すべてのユーザー) のためにインストールするのかを決定します。

必要に応じて、[ディスク構築] ボタンを使用して現在選択されているディスクドライブの空き容量を表示し、選択したコンポーネントをインストールするためにどれだけの容量を使用するのか表示します。

## ステップ 5: インストールの確認および終了

続行する用意ができたなら [次へ] をクリックします。[インストールの確認] 画面が現れます。

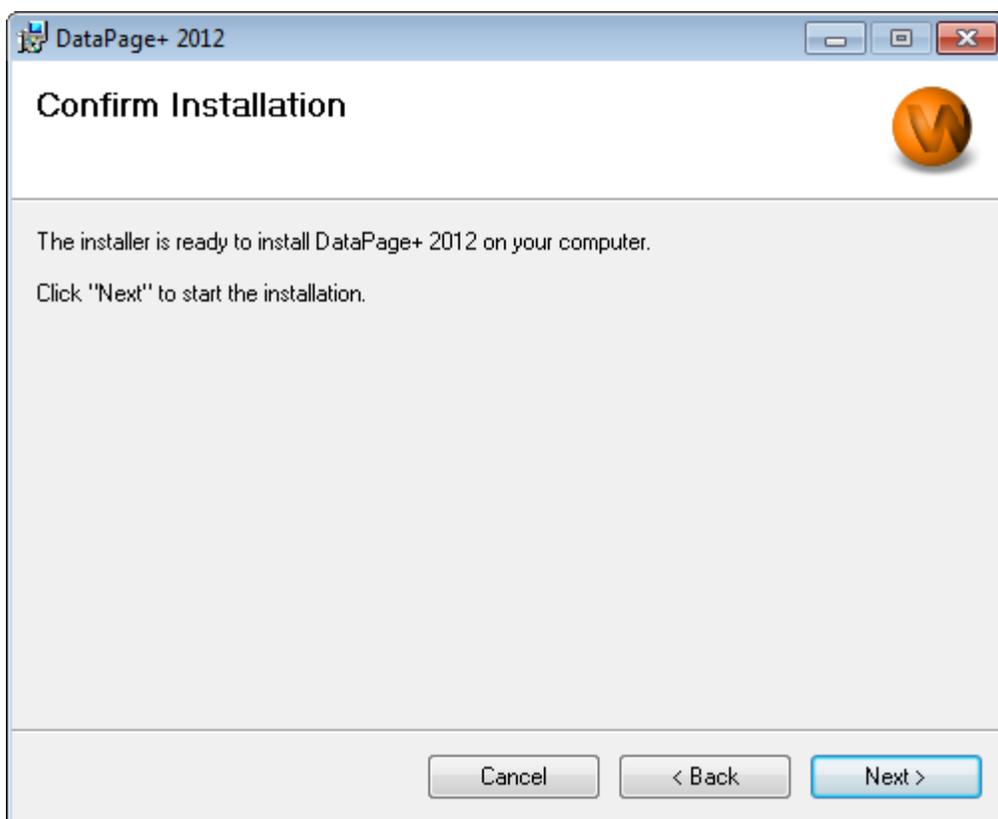


図 9 – インストールの確認画面

インストールを確認し (図 9)、[次へ] をクリックして実際にインストールを開始します。

進行状況バーが現れ、インストールのプロセスが表示されます (図 10):

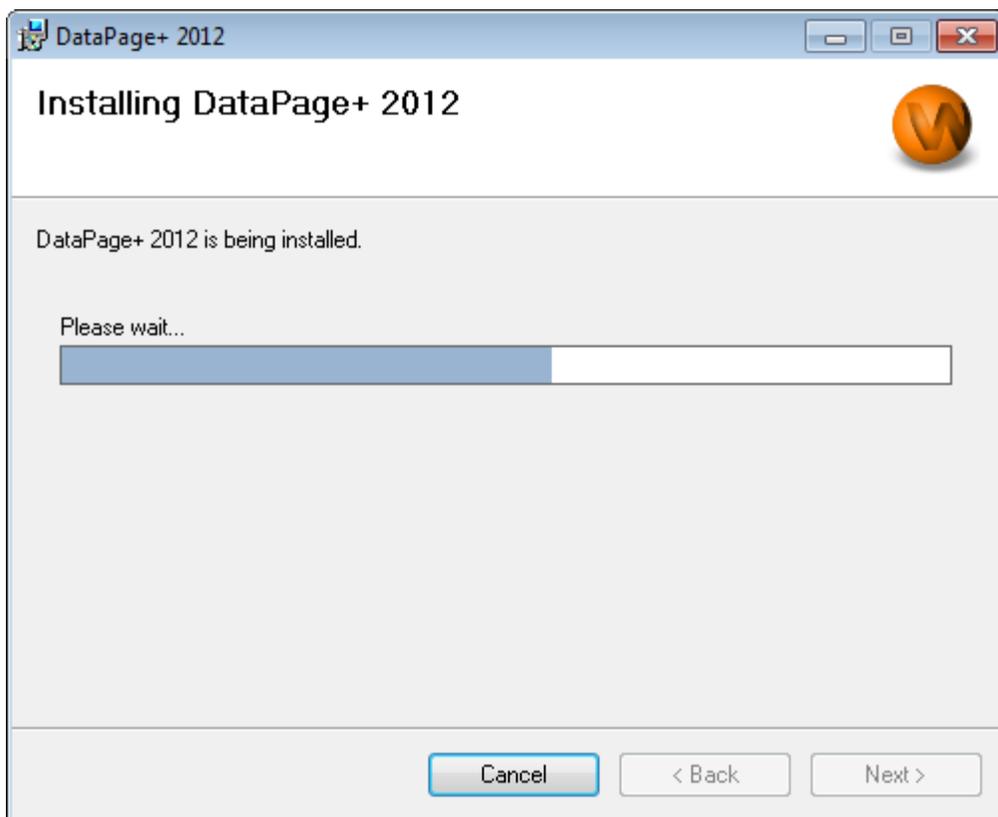


図 10 – インストールの進行状況

DataPage+ が必要なファイルとショートカットのインストールを終了すると (図 11)、[閉じる] ボタンが利用可能になります。[閉じる] をクリックしてウィザードを終了します:

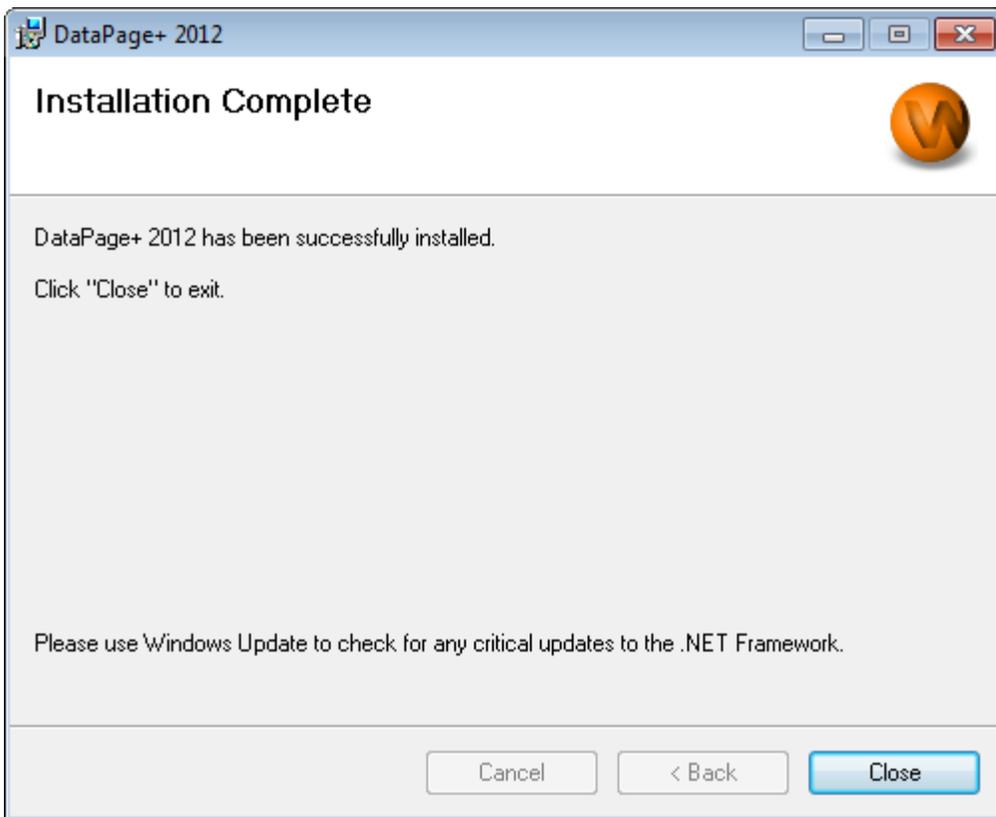


図 11 – インストールの完了画面

[閉じる] をクリックした後は、インストールしたショートカットアイコンにアクセスして DataPage+ を起動することができます。

---

## ステップ 6: インストールしたコンテンツの確認

DataPage+ をインストールした後は、ソフトウェアはユーザーの Windows オペレーティングシステムに基づいて以下のデフォルトディレクトリにファイルをインストールします:

### プログラムファイル

プログラムファイルはユーザー指定のインストールディレクトリにインストールされます。これには実行ファイル、ツール、XML ファイル、レポート、ヘルプファイル、追加のファイルが含まれます。デフォルトの場所を以下に示します:

<b>Vista/7:</b>	C:\Program Files\Wai\Datapage+ 2012 または C:\Program Files(x86)\Wai\Datapage+ 2012
-----------------	---

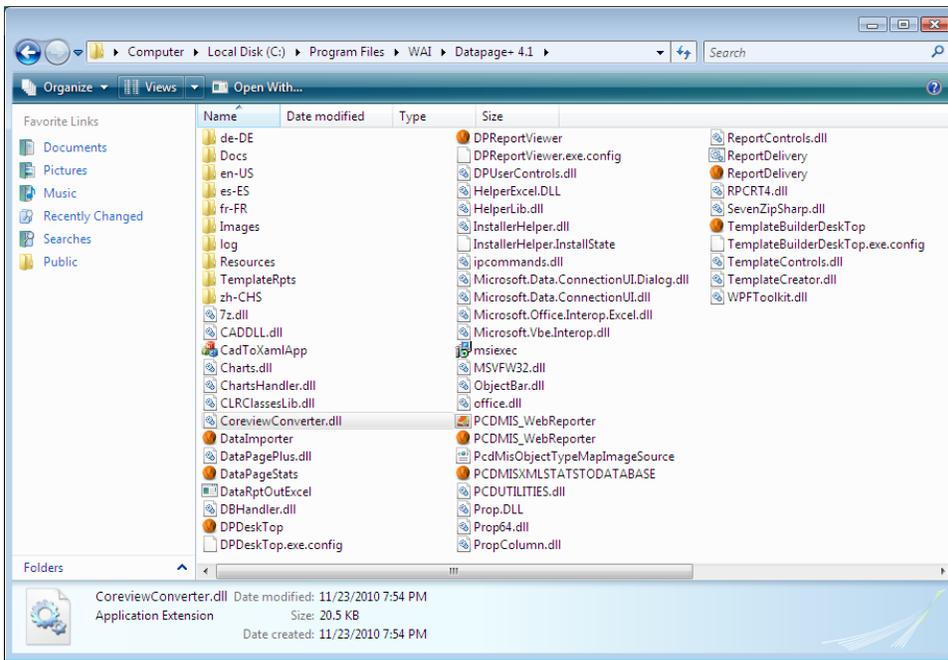


図 12 - インストールされたプログラムファイル

## デモデータベース ファイル

デモデータベースをインストールに含めると選択した場合、Datapage+ は以下のデータベースファイルを以下の場所にインストールします:

<b>Vista/7:</b>	<p>C:\Users\&lt;&gt;username&gt;\AppData\Roaming\DPPlusDatabase\                  ここで、&lt;username&gt; はユーザー名</p>
-----------------	---

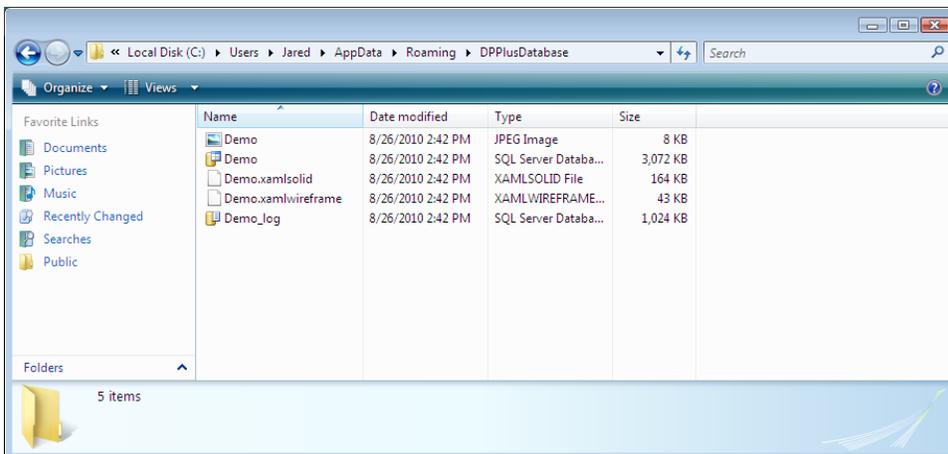


図 13 - インストールされたデモデータベース

# DataPage+ をはじめて使用する

---

## 概要

ここでは、DataPage+ ソフトウェアをはじめて使用する場合に役立つ情報を説明します。

---

## ステップ 1: ソフトウェアの開始

DataPage+ がインストールされたら、プログラムショートカットがインストールされた場所で **DataPage+** アイコンをダブルクリックしてアプリケーションを起動します (図 14)。

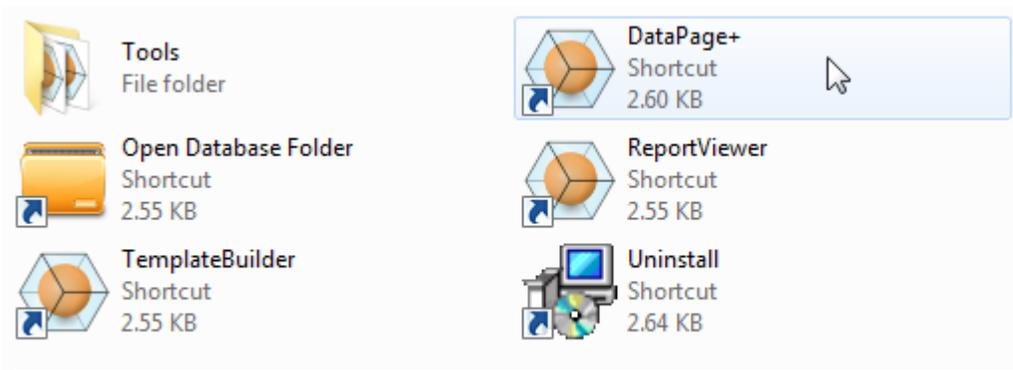


図 14 – プログラムのショートカット

ソフトウェアはデモデータベースへの接続を試みます。すべてが順調に進んだら、ログイン画面が現れます。

---

## ステップ 2: 「はじめに」に進む

データベースの接続に問題がある場合、またはデータベースに接続しているが単に初回の登録またはログインが必要な場合、DataPage+ ヘルプファイルの「はじめに」にアクセスします:

1. アプリケーションウィンドウの右上にあるヘルプボタンをクリックします (図 15)。

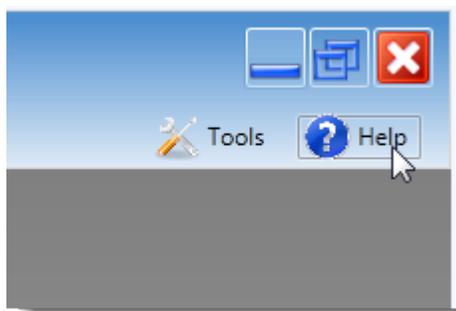


図 15 – ヘルプボタン

2. ヘルプファイルの最初に現れる [ようこそ] 画面から、[はじめに] へのリンクをクリックします (図 16)。

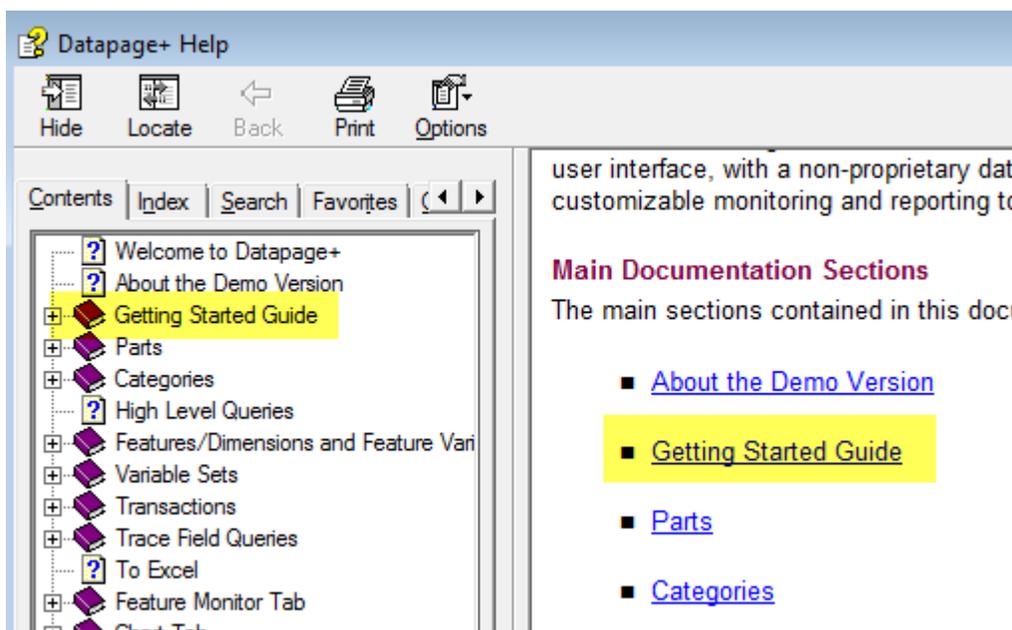


図 16 – [はじめに] へのアクセス

ヘルプファイルの [はじめに] が開きます。ここには新規ユーザー向けに以下の役立つトピックに関する情報が含まれています:

- データベースの接続
- 登録およびログイン
- 既存の統計データのインポート

- PC-DMIS から Datapage+ へのデータ送信
- ユーザーインターフェイスの概要
- 使用に関する概要

# インストールのトラブルシューティング

---

## 概要

DataPage+ または必要なソフトウェアコンポーネントが正しくインストールできない、または正常に実行できない場合、前のバージョンの Microsoft SQL Server 2005 Express と競合している、あるいはその他の設定に問題がある可能性があります。

その場合、手動でのインストールや必要なソフトウェアコンポーネントの設定を実行しなくてはならないこともあります。これを行うには、インストールファイルの "Manual Installation Instructions" ディレクトリにある PDF セットアップガイドを参照してください。